



## Contents

- \*「知ってほしい！」矯正歯科医が考える  
アライナー治療の限界と本音
- \*アライナーに関するアンケート調査結果より

# 歯と歯並びの ニュースレター Vol.10

発行元  
公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会  
〒107-0003 東京都豊島区駒込1-43-9  
(一財)口腔保健協会内  
TEL.03-3947-8891 FAX.03-3947-8341  
<https://www.jpao.jp/>  
2022.7.20 発行



## 春のプレスセミナーより 知ってほしい！

## 矯正歯科医が考えるアライナー治療の限界と本音

公益社団法人日本臨床矯正歯科医会（会長：野村泰世）では、2022年3月14日（月）、昭和大学歯学部長／昭和大学歯学部歯科矯正学講座教授 樋宏太郎先生をゲストスピーカーに招き、メディア各社に向けたセミナーを開催しました。今回はその内容を踏まえ、近年話題となっている“アライナー矯正”的真実を明らかにしていきます。

### アライナーを用いた治療トラブルが急増中

新型コロナウイルス感染症の流行によるマスク生活が長期化する中で、若い世代を中心に矯正歯科治療の需要が高まっています。その一方で、不適切な矯正歯科治療をめぐるトラブルも増加しており、日本臨床矯正歯科医会（以下、本会）が公式ホームページ内に開設している「矯正歯科何でも相談」への相談件数も増加しています。

なかでも透明のマウスピース型矯正装置（以下、アライナー）を利用した矯正歯科治療によるトラブルの相談は、2019年の21件から2020年には56件にのぼるなど急増しています。



### 従来のマルチブラケット装置とアライナーとの違い

一般的な矯正歯科治療で利用するマルチブラケット装置は、1本1本の歯の表面に溝のあるブラケットという器具を貼りつけ、その溝にアーチワイヤーを通して3次元的に歯を移動させます。

マルチブラケット装置は患者さん自身で取り外しができない固定式なのに対して、アライナーは食事や歯磨きの際に取り外すことができ、透明なので装着中でも目立ちません。その反面、患者さんの使用状況に治療結果が大きく委ねられ、またマルチブラケット装置に比べて歯への力のかかり方が緩いことから、特に抜歯症例では予想外の治療経過を辿ることがあります。

さらにマルチブラケット装置を用いた治療には専門的なトレーニングや経験が求められるのに対し、アライナーは歯科医師であれば誰でも製作のオーダーが可能なため、治療を受ける医師によっては目標とした治療結果が得られない場合もあります。

### アライナーを用いた矯正歯科治療の留意点

- 治療効果は装着時間に影響される  
→1日20時間以上の装着が必要
- 適応症例が限られる  
→著しい出っ歯や乱ぐい歯には不適合
- 力のかかり方がやや緩かったり歯の形に影響を受けたりする  
→治療期間が長くなることがある
- 診断に使われるシミュレーション画像に、歯の根っこ部分についての情報が欠けている  
→矯正歯科治療の専門的知識や経験がないと骨の中に収まる歯根まで見据えた治療ができない
- 歯科医師であれば誰でも製作のオーダー、治療ができる  
→シミュレーション画像の適否の判断や予期せぬ歯の動きに対応するには、矯正歯科の専門的知識が必要



アライナー（マウスピース型矯正装置）

### Casestudy

### アライナーを用いた矯正歯科治療を受けた成人女性のケース

あごの大きさに歯を収めるため、第一小臼歯（前から4番目の歯）を抜歯後、アライナーを用いた矯正歯科治療を受けたものの、抜歯部位に歯が傾斜してしまい、治療前より前歯の被蓋（かぶさり）が深くなってしましました。また、上顎右側の側切歯（前から2番目の歯）の捻転（ねじれ）も治っていません。

現在は、矯正歯科専門開業医院にて、マルチブラケット装置を装着しての再治療中です。



治療前



アライナーを用いた矯正歯科治療後

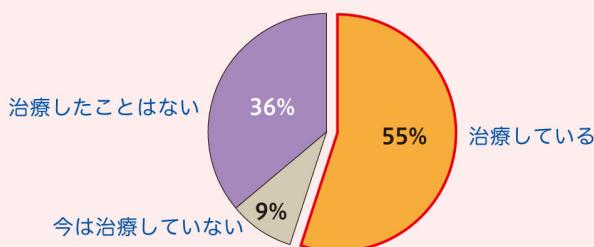


現在、矯正歯科専門開業医のもとでマルチブラケットを用いた再治療中

## 本会会員のアライナーの使用状況 (日本臨床矯正歯科医会調べ)

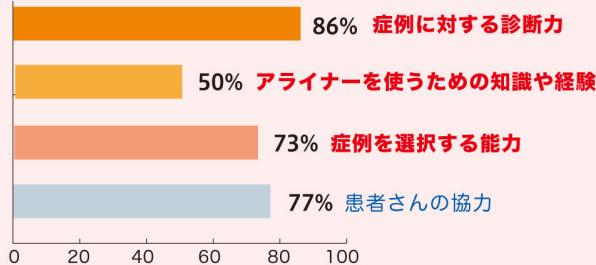
### Q1 現在アライナーを使って治療しているか?

55%の会員がアライナーを用いて治療していると回答。



### Q3 アライナーを使った治療で良好な治療結果を得るために必要なものは?

着脱可能な装置であることから患者さんの協力が必須であることに焦点が当たるが、実際にはそれ以上に術者側の診断力や経験・知識が必要と答えた人が多く、「アライナーは魔法の装置ではない」と記入している会員もいた。



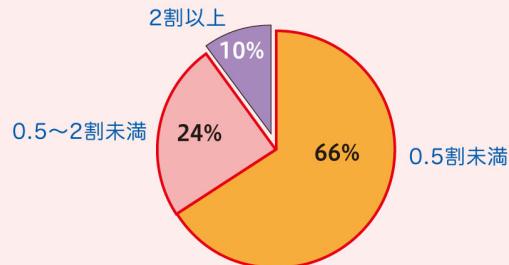
### Q2 診療所全体の患者数に占める

アライナーを使って治療する患者数の割合は?

会員の90%が患者さんの2割未満にしかアライナーを

使用しないと回答。

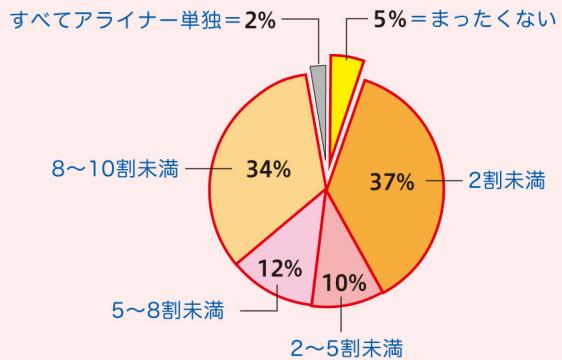
アライナーだけで治療すると答えた会員はいなかった。



### Q4 アライナーを用いた治療で、

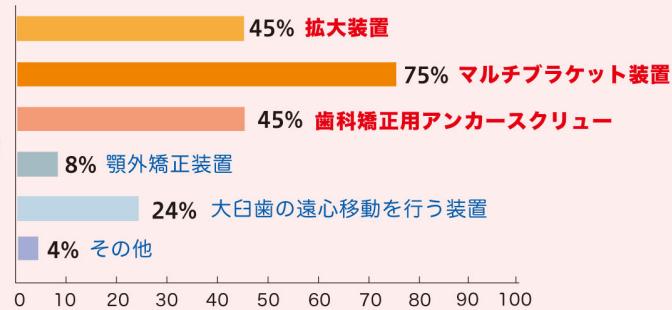
マルチブラケット装置を併用せずに治療を完了する症例の割合は?

アライナー単独で治療を完了することはほぼないという結果が得られた。



### Q5 アライナーを使った治療で併用する装置は? (複数回答)

アライナーを用いる会員は、マルチブラケットをはじめとする他の矯正装置を組み合わせて治療を行っていることがわかった。これは、アライナーで良好な治療結果へ導くには、治療を行う歯科医師に、それらの装置も使いこなす技量が必要であることを意味する。



### 結論

#### 患者さんに心得ておいてほしいこと

- ◆ アライナーは、決して簡単な魔法の装置ではありません
- ◆ アライナー治療を受ける際は、リカバリーの手段や技術を持つ歯科・矯正歯科を慎重に選んでください
- ◆ アライナーは日本の薬機法上は医療機器ではありません
- ◆ アライナーでの治療は「自己責任」の治療であることを認識してください

アライナー治療におけるトラブルに対して本会ではこのような取り組みを行っています

- ◆ 公式ホームページ上のさらなる注意喚起
- ◆ 公式ホームページ内の「矯正歯科何でも相談」での相談受付

★「矯正歯科何でも相談」についてはこちらをご覧ください。

